

令和7年度第2回高根沢町若者ミーティング 記録

1. 開催日時 : 令和7年11月13日(木) 19時00分～21時00分
2. 開催場所 : 高根沢町役場第1・2会議室
3. 会議の議事 : 「(仮称)高根沢町若者特派員事業」の検討について
4. 出席者 : 若者ミーティング委員7名

(事務局)

高根沢町企画課	課長	檜 山 史 進
	課長補佐	直 井 義 之
	係長	菅 谷 昌 孝
	主任主事	田 代 真 也

5. 会議の内容

(1) 事務局からの説明

第1回若者ミーティングでいただいた意見を踏まえた今後の展開として、

●「町の情報が、(町内外問わず)届けたい人に届いていないのではないか?」、「より情報が伝わりやすい工夫が必要ではないか?」という課題に対し、SNS等のツールを活用するとともに、行政目線だけでなく、若者目線での情報発信を行うことで、「町民の愛着や誇りの醸成」を図っていききたい。

●そのことを、現在策定中である「高根沢町地域経営計画2026」の中に、施策の1つとして位置付けた上で、令和8年度の新規事業として、若者自身がコンテンツを作成し、町のYouTubeやInstagramを使って情報発信を行う「(仮称)高根沢町若者特派員事業」を立案、実施していききたい。

といった経緯について説明を行った。

(2) 意見交換の内容

主に以下の項目について自由に意見交換を実施した。

●事業の名称の代替案

⇒「〇〇事業」という名称は固い印象を受ける。

「たんたん」というフレーズを活用しては? 方言を活用してはどうか。…

●ターゲットの設定の要否

⇒ターゲットを設定したほうが情報は届きやすくなる。

最初はターゲットを意識しすぎないほうがいいのでは?…

●発信するコンテンツ

⇒まずは人をメインに発信していきたい。

町職員へのインタビューからはじめてはどうか。

将来的には町民にも対象を広げたい。…

●発信を行う媒体

⇒最近は短い動画が好まれる傾向にある。

Instagram が最も馴染みがあって使いやすい。

ある程度横断的に発信したほうが良いのではないかな。…

●事業の進め方

⇒取材をする際には、一定程度の知識と経験が必要。

となると、情報発信の内容を整理するディレクターのような方が必要。

今後の展開を見据えて、事業のマニュアル化、モデル化が図れると良い。…

(3) 今後の方向性

- 事業のネーミングについては、各委員から案を提出していただき、いただいた案をもとに事務局で決定する。

- 令和8年度から事業を進めていくにあたっては、外部の有識者を招聘し、動画制作や情報発信に係るレクチャーや助言をいただくとともに、継続性のある事業とするためにも、取材～編集～発信までの一連の流れをマニュアル化していく。

- 発信媒体については、Instagram や YouTube での動画による発信を主として行う。取材対象は町職員から始め、将来的には町職員以外の町民の方への取材も検討していく。